

マイクロソフト社会貢献プログラム「ITを活用した若者就労支援プロジェクト」

事業参画サポートステーション募集に関する Q&A

① サポステ運営母体が株式会社だが、事業参画の対象となりますか？

マイクロソフトの「コミュニティ IT スキルプログラム」は対象が、非営利団体や自治体となっており、今回の対象団体ではありません。

② 「講師養成研修」の実施について詳細は決まっていますか？（開催地／期間／回数）

開催地は東京都内を予定しています。

実施期間については現在調整中であり、3泊4日程度の集中研修1回で完了する予定です。

③ 受講目標数の「のべ数」のカウントはどのように計算しますか？

講習1～3は、それぞれ20時間の構成となっており、20時間の修了をもって1人としてカウントします。例えばAさんが講習1・2・3の全てについて20時間（合計60時間）受講した場合は、のべ3人となります。また、Bさんが講習1・2を受講し、講習1は20時間修了、講習2は途中リタイアしてしまった場合は、のべ数1人となります。

④ 進路決定目標数のカウントはどのように計算しますか？

進路決定者数、進路決定者割合ともに実数をもとに計算して下さい。

例えば、100人の若者が講習1・2・3を受講し、30人が進路決定したと仮定した場合、のべ数は300人になりますが、実数である100人を分母、進路決定者30人を分子として計算していただきます。のべ受講数を重視している一方で、進路決定率については受講者実数の30%を達成することを重視しています。

⑤ 講習の実施回数に制限などはありますか？

受講目標数を達成できること、一年を通じて若者に受講機会を提供できることを念頭に置いていただければ、特に制限は設けておりません。申請様式「③」にて、計画をお示し下さい。

また、講習1・2・3、各20時間をどのように実施いただくかも各団体にお任せ致します。例えば、1時間×20回とする、或いは、4時間×5回とする方法もあります。

⑥ 終了後に試験等がありますか？

20 時間の受講をもって修了となり 20 時間の受講が完了した若者にはプロジェクト独自の修了証を発行いただくことができます。ただし、この修了証は公的な証明にはなりません。

履歴書に書ける資格へのステップアップとして、「MOS」の受験をプロジェクトとして推奨しています。

⑦ 開催場所はサポステで無ければダメですか？

サポステでも、サポステ以外でも問題ありません。初年度も、専門学校をお借りするなどして実施しているサポステがあります。

⑧ 講習を実施する時間帯に制限はありますか？

特に制限はありません。

質問⑤と同じことを意識していただければ幸いです。

⑨ 受講者からテキスト代を徴収することはできますか？

受講者からの徴収は認めていません。運営資金か、自己負担にて印刷ください。

⑩ サポステ勤務の職員が講師養成研修などを受講した場合、受講中の人件費は国費にて請求可能でしょうか？

募集要項にもあります通り、本プロジェクトに関わる経費は、サポステ措置分との重複のないように処理して下さい。サポステ事業のための国費は他事業との予算の線引きを仕様書などで求めていますことをご留意ください。